

わった〜バス利用促進乗車体験事業（県事業）に おけるNバス無料化

令和6年8月30日

南城市地域公共交通会議

1 わった～バス利用促進乗車体験事業について

- 沖縄県では、県民に路線バスを利用する機会を提供することで、車にはないバスならではの良さを体験してもらい、過度な自家用車利用から適度なバス利用への転換を促進することを目的に、路線バスを運賃無料にする「わった～バス利用促進事業」を実施します。
- 実施日は9月の水曜日の4日間、日曜日の4日間の計8日間で、終日路線バスが無料となり、事前、事後のモニター調査により効果を把握します。
- なお、同事業は、県内市町村が運行するコミュニティバスも対象となっています。



図-1. わった～バス利用促進乗車体験事業の実施日



図-2. わった～バス利用促進乗車体験事業のモニター調査の流れ

== 参考 わった～バス利用促進乗車体験 事前アンケートの内容 ==

- Q1. 企業名を入力してください。
- Q2. 業種を選択してください。
- Q3. メールアドレスを入力してください。（会社のアドレス以外でもかまいません）
- Q4. 性別
- Q5. 年代
- Q6. 職種
- Q7. 自動車免許保有の有無
- Q8. 通勤時に使用している交通手段は何ですか。その交通手段での所要時間を教えてください。
- Q9. Q8 で選択した交通手段での所要時間の設問
- Q10. 通常の1日の歩数を教えてください。
- Q11. 自宅の出発時刻を教えてください。（24 時間表記）
- Q12. 会社の到着時刻を教えてください。（24 時間表記）
- Q13. 会社の始業時刻は決まっていますか。決まっている場合は、始業時刻を教えてください。
- Q14. 通勤時のバスの利用頻度を教えてください。
- Q15. 会社の始業時刻は決まっていますか。決まっている場合は、始業時刻を教えてください。
- Q16. Q14 で「1. 決まっている」を選択した方への設問（24 時間表記）
- Q17. 通勤時のバスの利用頻度を教えてください。
- Q18. 自宅からの最寄りバス停をご存じですか。知っている場合、バス停までの距離を教えてください。
- Q19. Q18 で「1. 最寄りのバス停を知っている」を選択した方への設問

2 N バス及びおでかけなんじいの対応

2.1 事業の適用

- 南城市が運行するコミュニティバスである「N バス」は同事業の適用対象であり、事業が適用されると、事業実施日は運賃が無料になります。
- 一方、登録、予約が必要な「おでかけなんじい」は、わった～バス利用促進乗車体験事業の対象外であり、通常運賃での運行となります。

表 1.わった～バス利用促進乗車体験事業の適否

種類	運行・利用形態	事業の適用
N バス	誰でも利用できる定時・定路の路線バス	○
おでかけなんじい	登録、予約が必要なフルデマンド交通	×



図-3. N バスの路線図

2.2 事業適用による影響

- Nバスにわたった～バス利用促進体験事業を適用した場合、8日分の収入が減少しますが、一定額が県から補填されます。
- 事業実施によって、Nバス車内の混雑が懸念され、特にコストコ南城倉庫のアクセス路線となるA系統、B系統での混雑が心配されます。

2.3 わった～バス利用促進乗車体験事業への対応

- Nバスにわたった～バス利用促進体験事業を適用することで、Nバスの混雑が懸念されますが、事業により、ふだんNバスや路線バスを利用していない方にとっては、貴重な乗車体験の場づくりとなります。また、無料時の利用状況等を確認することで、公共交通に対する潜在的な利用ニーズの把握の検証に活用できることから、Nバスに、わたった～バス利用促進乗車体験事業を適用することを提案します。

【わたった～バス利用促進乗車体験事業適用により期待される効果や実態の把握】

- ふだんNバスを利用しない方の乗車体験の場づくりと、その後の利用促進
- Nバスの新たな活用パターンの気づきと、その後の利用促進
- Nバスに対する潜在的な利用ニーズの把握 等